

地域の健康 担い手育成

講座始まる

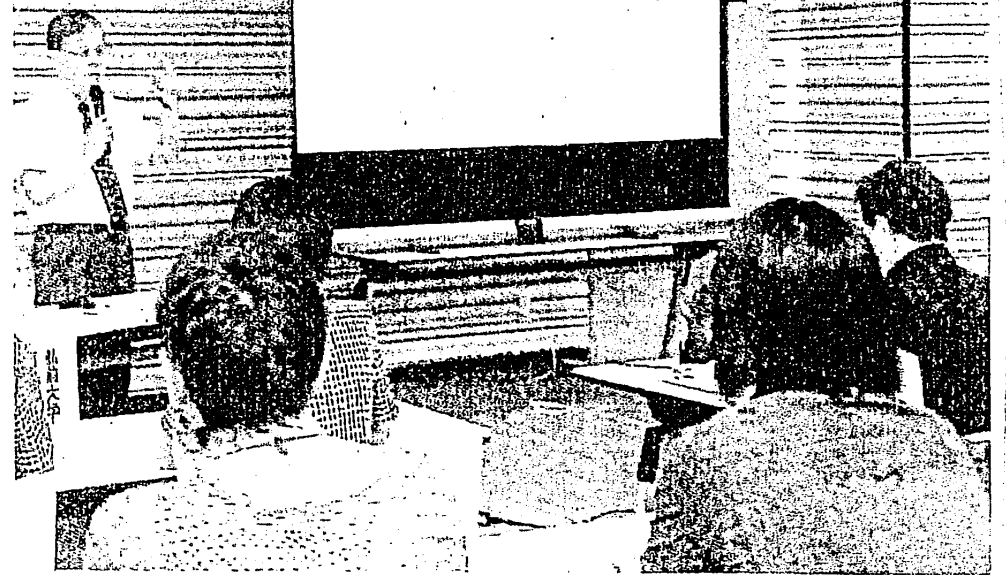
地域保健活動の担い手を育てる「ひろさき健康増進リーダー養成講座」が6日、弘前市のヒロロで始まった。

受講者は今後約5カ月、講義や実習などで健康づくりの基礎や運動指導の技術などを学ぶ。

市が弘前大学大学院医学研究科に開設した「地域健康増進学講座」

が主催し、今年で3期目。週1回ほど受講し、最後の筆記と実技の認定試験に合格した受講

健康増進 学院医学研究科地



日本人の寿命について講義する中路科長㊦

者は、市や大学が企画する保健活動のボランティア指導員などとして活動する。

今年20〜70代の男女36人が受講。開講式で中路重之医学研究科長が「短命県返上は一

人一人が努力して仲間を増やすことが大切。みなさんと一緒に取り組んでいきたい」とあいさつした。学童保育をしている受講者の佐藤文子さん(55)は「成人の健康を学んで子ど

もたちに伝えて、大人になったときに実践してほしい。講義の中で自分が活躍できる場を見つけていきたい」と話した。

開講式後、中路科長が「寿命」や「生活習慣病」などについて講義した。(秋村有香)